

2018年9月20日

株式会社 新潟放送

BSNのラジオ・テレビの番組が 平成30年日本民間放送連盟賞 優秀賞 受賞

BSNが制作・放送したラジオとテレビの番組が、平成30年の日本民間放送連盟賞の優秀賞に選ばれました。

■ラジオ

【受賞部門・受賞内容】 日本民間放送連盟賞 ラジオ生ワイド番組 優秀賞

【作品名】 「近藤丈靖の独占ごきげんアワー 大人の自由研究 ものもらいの呼び方」

【放送日時】 平成29年8月24日午前9時～ 放送

【番組内容】 「近藤丈靖の独占ごきげんアワー」は12年目を迎えた生ワイド番組で近藤丈靖アナウンサーがメインパーソナリティを務める、平日午前の看板番組です。

今回は、夏の自由研究に悩む子どもたちのアイディアのきっかけになればと、目の病気の1つである「ものもらい」の呼称が多様であることから、それぞれの地域での呼び方を募集しました。スタジオに新潟県の地図を用意して、呼び方の分布を戦国時代になぞらえ、勢力分布を記録しました。また、中継レポートのコーナーでは、観光客が多く集まる長岡市寺泊を訪れ、データを収集しました。さらに、ものもらいといえば、目薬ということで、独自に呼び方を調査しているロート製薬の担当者にも電話出演してもらいました。地元の方言である新潟弁の魅力発信を番組のコンセプトとしてきた「ごきげんアワー」ならではの発想であり、日々、アナウンサーとして、正しい日本語と向き合ってきた近藤パーソナリティらしい企画となりました。

【講評】 「近藤・表の両パーソナリティが上手でさわやかで聴きやすい」「生放送らしい、生きた放送」「県外聴取にも耐えられる内容」との講評がありました。



■テレビ

【受賞部門・受賞内容】 日本民間放送連盟賞 テレビ報道番組部門 優秀賞
【作品名】 報道特別番組「Aの衝撃～コメ王国の正体」
【放送日時】 平成30年5月26日午後4時～ 放送

【番組内容】 豊かな自然に恵まれ、全国有数のコメどころとして知られる新潟県。去年、新品種の「新之助」を大々的に売り出し、コシヒカリと並ぶブランド米に育てようと動き出したことをきっかけに、番組化にむけた取材に乗り出しました。

今年でテレビ開局60年をむかえる新潟放送にとって、コメ問題とは長年、深く向き合ってきました。中でも魚沼コシヒカリは毎年、日本穀物検定協会が発表する食味ランキングで28年連続、特Aの評価をうけ、日本一のコメとも称されてきました。しかし平成30年2月、初めてAランクに「陥落」。動搖を隠せない関係者に、消費者目線の販売店や農業問題の専門家から厳しい指摘が相次ぎました。一方、米をめぐる国の政策は平成30年、減反廃止に伴い自由競争時代にむけて大きな転換期を迎えるました。こうした中、魚沼コシヒカリの産地でも業務用米の栽培を手掛ける農家が現れるなど脱コシヒカリの動きが表面化。さらに、新潟に追い付き追い越せと地元産米のブランド化をめざしてきた他県の取組が勢いを増します。コメ王国・新潟がまさに正念場をむかえる中、地元メディアとして、傍観するのではなく、現状と課題を多角的に検証し、実態に迫り、「痛みを伴った提言」ができるだろうか。そんな思いを込めて未来の新潟の米作りに希望を託した番組です。

【講評】 「コメの常識を一気に突き崩す衝撃的なもの」「痛みを伴った提言という制作意図通りの構成」「身近なテーマをより深く描き、幅広い視聴者を惹きつけた」との講評がありました。



【お問い合わせ】

株式会社新潟放送 経営管理本部総務部 担当：苅部・金子
☎：025-267-4111（代表）